

授業科目

医療福祉ティームワーク論

【担当教員名】 遠藤 和男 (学生アシスタント数名)	対象学年 1	対象学科 理学・作業・言語・健康・社会
	開講時期 後期(前半)	必修・選択 選択
	単位数 1	時間数 30

【概要】 チームワークは講義では学べないので、グループ討議を中心とする。チーム・地域・人間性重視を柱とした「全人的医療論」は3年後期の科目である。平成13年度には基礎ゼミⅡの中に、遠藤が発案した本科目の内容を4コマ採り入れてもらった。ただし、医療福祉基礎科目群の選択の幅が狭いため、平成14年度と同様に約150人が受講している。平成14年度から学生アシスタントを活用している。先輩の助言を得ながら活発に討議してほしい。

【一般目標：G10】

将来ティーム医療に携わる一員として活躍するために、グループワークの重要性を理解する。

【行動目標：SBO】

1. グループワーク、コミュニケーションの重要性を説明できる。
2. 医療福祉関連職種を列挙し、自らの目指す専門職の独自性を説明できる。
3. 日本の老人保健・医療・福祉の問題点を指摘できる。
4. 日本の医療と福祉との連携について、解決策を立てることができる。
5. グループワークに積極的に参加する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法/担当教員
1	医療福祉関連職種 2～3人で医療福祉関連職種を列挙し、あとで自己採点する。	2	講義と演習/遠藤のみ
2	専門職種の独自性 各学科毎に6～8名のグループを作り、専門職について討議する。	1,2	小グループ討議 /遠藤+学生アシスタント
3	大切なものはなあに？ 人生で何が大切かは人によって異なり様々な意見があることを学ぶ。 話し合いによって、極端な意見は相殺され、平均的な意見に落ち着く。	1,5	同上
4	日本の老人保健・医療・福祉の問題点 日本の老人保健・医療・福祉の問題点をKJ法を用いてまとめる。	3,5	同上
5	二次元展開法と解決策 4.の問題点に対する解決策について二次元展開法でまとめる。	4,5	同上
6	情報伝達ゲーム ゲーム形式によって正確な情報を伝達する困難性を体験し、 ティームワークの前提としてコミュニケーションの重要性を学ぶ。	1,5	同上
7	医療福祉ティームワークの問題点 医療福祉ティームワークの問題点についてKJ法でまとめる。	3,5	同上

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	なし			
参考書	チーム医療論	鷹野和美編著	医歯薬出版	2002、¥2,000+税
その他の資料				

【評価方法】

いわゆるペーパーテストは実施しない。
授業中に演習した方法論に基づいてレポートを提出する。また毎回アンケートをとる。

【履修上の留意点】

概要でも述べたように、グループ討議を主体とする。また積極的な参加を望んでいる。引っ込み思案を治したいというならよいけれども、積極的に参加しない限り、履修する意味は全くないと言ってよいので注意のこと。